

## 環境

### 大気汚染防止

#### ガバナンス

#### 戦略とリスク管理

#### 取り組み

- 自動車専用船からの排気ガスを回収・処理
- 船舶の減速航海
- 関連データ

#### ガバナンス

当社グループは、「日本郵船グループ 環境ビジョン」において特に対処すべき3つの環境課題の一つに「大気汚染防止」を掲げています。

大気汚染防止を含む環境関連課題のガバナンス体制については「環境マネジメント」をご参照ください。

詳細は以下をご覧ください

**P.029** 環境マネジメント

#### 戦略とリスク管理

当社グループは、大気汚染物質の排出に関する国際的な規制と各地域特有の規制に則り、船舶および航空機を運航しています。

環境規制を満たした船舶の発注を前提に、運航にあたっては規制に適合する油(低硫黄燃料油)の適切な使用を義務付けるとともに、硫黄を含まないクリーンなLNG燃料を使用するなど大気汚染物質の削減を着実に実行します。さらに、燃料油の分析を継続的に行っていくことで、規制に適合した燃料油の使用を確実に管理しています。

#### 取り組み

##### 自動車専用船からの排気ガスを回収・処理

当社は、米国の船舶向け排気ガス処理事業会社STAX Engineering Pty Ltd.と、船舶からの排気ガスを回収・処理する技術の利用契約を締結しました。

本件は、カリフォルニア州大気資源局(CARB)が同州に寄港する船舶に定める排気ガス規制の対象拡大に対応した取り組みです。CARBの排気ガス規制では現在、カリフォルニア州に寄港する外航コンテナ船・旅客船などを対象に、停泊中に排出する窒素酸化物(NOx)、二酸化炭素を含む反応性ガス(ROG)、粒子状物質(PM)、ディーゼル微粒子(DPM)などの削減が義務付けられています。2025年には自動車専用船やタンカーも対象となることから対応が急務となっており、当社は本技術を活用し当社運航の自動車専用船が停泊中に発する排気ガスを2025年1月から回収・処理します。



同技術による排気ガス回収・処理のイメージ

##### 船舶の減速航海

当社グループは、米国カリフォルニア州ロングビーチ港湾局が実施する減速航海プログラム「グリーンフラッグ」にも参加しています。このプログラムは船舶からの排気ガスを抑制する目的で導入されたもので、各海運会社に沿岸40マイル以内の海域において船速12ノット以下での航行を推奨しています。

当社は例年90%以上の高順守率を維持しており、グループ会社のNYKバルク・プロジェクト(株)は、2023年7月に前年の実績を称えられ優秀企業として表彰されました。



ESG Navigatorと減速航海プログラムに貢献したオペレーター

##### 関連データ

■ NOx、SOxの排出量(船舶由来)

■ NOx ■ SOx

